

新 評 論

2024・2025
12・1
No.346

発行所 © 新 評 論 2024年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
振 替 00160-1-113487 価格税込



石垣島最北端の
平久保崎灯台

「観光」の裏には「自殺」という問題がある。観光ブームに湧く離島を対象に、自殺予防対策の実態をインタビュー形式で紹介。

離島の光と影

「シマ」の観光と自殺

波名城 翔

◆ジャンル：ノンフィクション／精神保健福祉／自殺予防

「離島」という言葉からみなさんはどのようなイメージを抱きますか？ きつと、「海がきれい」、「食べ物美味しい」、「人が優しい」といったイメージが出てくることでしょう。近年、離島は観光ブームに湧いています。訪れた、多くの方が「癒されたね。また行きたいね」と思われることでしょう。

私は、自然が豊かで、観光ブームに湧く離島を対象に、自殺予防の研究をしています。きっかけとなったのは、約一〇年前、沖縄県宮古島市の職員時代に自殺対策を担当したことです。離島での自殺は、みなさんが想像している以上に多いのです。大学の教員に転職した現在、全国の離島を対象に、北は北海道から南は沖縄まで足を運んで調査を行っています。

本書では、私が実際に訪れ、インタビューやフィールドワークを行った五つの島を取り上げ、自殺対策についてまとめることにしました。タイトルどおり、自殺対策だけではなく観光そのものにも光を当て、観光業の裏側で行われている自殺対策や、その実態について保健所や市町村役場、民間団体、住民の声などをインタビュー形式で紹介していきます。前

著「自殺者を減らす！ゲートキーパーの生き方」(新評論、二〇一三年)では、自殺のハイリスク地と言われる青木ヶ原樹海(山梨県)や東尋坊(福井県)、三段壁(和歌山県)で自殺予防に携わる方々へインタビューをしました。ハイリスク地は観光地でもあります。「観光」の裏には「自殺」という問題があるのです。

本書を著すにあたり、公的機関から「掲載不可」が相次ぎ、掲載対象地を変更するという事態となりました。多分、「余計なこととはしてくるな」ということでしょう。それほど、自殺の問題を取り上げるのは難しく、大変な労力を伴います。それでも著した理由は、自殺者を一人でも減らしたいからです。自殺者を減らすには、島民や移住者、観光客など一人ひとりの意識が変化する必要があります。ぜひ本書を読まれて、離島における自殺について考えていただければうれし

いです。(はなしろ・しよう)

ISBN 978-4-7918-1281-0 1月上旬刊

四六並製 二八〇頁 予三〇八〇円

刊 自 殺 者 を 減 ら す !

好評 (ゲートキーパーとしての生き方)

波名城 翔

著者 1983年宮古島生まれ。精神保健福祉士／社会福祉士。障害、医療、行政機関を経て、2018年から琉球大学人文社会学部専任講師。沖縄県自殺対策連絡協議会委員、沖縄県公立学校教職員メンタルヘルス対策検討会議委員。



76歳の認知症の妻を3年間介護している同年齢の夫(平日は、デイサービスとデイケアを毎日交互に利用している。介護者は、若いときに趣味で居合道をやっており、写真におさまっているのは居合刀である)。

「ケア」と「ジェンダー」の両概念の「定義」に正面からアプローチし、福祉社会学を多様な視点と分析手法によって考察した意欲作。

比較福祉社会学の展開

ケアとジェンダーの視点から

西下彰俊編著／何妨容・山口佐和子・
乙部由子・加藤典子・嶋守さやか

◆ジャンル：福祉社会学／ケア／ジェンダー

本書は、編者である西下が名古屋市内にある金城学院大学に在職時に指導した社会学専攻博士課程大学院生あるいは修士課程院生であったメンバー達と共同で執筆している。筆者は、30代前半から40代後半まで14年間在職しており、その間に指導した院生達である。ここ数年にわたる活発な議論を通じて本書は完成している。

本書は、幾つかの特色をもつ。まず第1に、本書のタイトルに入る「ケア」と「ジェンダー」の両概念についてそれぞれ「定義」に正面からアプローチしている点が挙げられる。具体的には、序章でケアとジェンダーに関する先行研究の定義を参照し、批判的に検討した上で筆者の暫定的な定義を提示している。第2に、これも本書のタイトルに入る「福祉社会学」の概念が、その定義において重層的であることを明らかにした点が挙げられる。つまり、福祉社会学は、第1に社会学の一分野である連字符号社会学であり、第2にあるべき福祉社会を模索する学際的な科学であるという2層から構成される概念であると理解する。その考え方は、

前職の大学で「福祉社会学学科」を新設する際の基本的な枠組みとなった。第3に、具体的なトピックスとして各執筆者の研究キャリア上で選ばれた介護制度、子供の共同監護、女性労働、単身高齢者、路上生活者に焦点が当てられ実証的な分析が行われている。その際、国際比較の視点あるいは国内比較の視点、共時的視点、通時的視点といった様々な視点から多様な分析が展開された。第4に、本書は大学の学部、大学院の教科書として使われることを意識して執筆された。具体的には、多くの章で、章の最初に理論的な考察や理論的な背景の説明がなされ、その考察や説明を踏まえた「人々の語り」(質的データ)が多様な方法で事例分析されている。教科書としての分かりやすさが、十分に発揮されていると考える。意欲に満ちた本書が広く長く読まれることを期待したい。

(にしした・あきとし)

ISBN 978-4-7918-1280-3 12月上旬刊

A5並製 二五六頁 三〇八〇円

好評刊 東アジアの高齢者ケア

(韓国・台湾のチャレンジ)
西下彰俊 二七五〇円

編著者 東京経済大学現代法学部教授。前勤務先では、福祉社会学科設立準備委員を務めた。スウェーデン、韓国、台湾、日本の介護政策比較研究が専門。昨年、東アジアの高齢介護者本人の聞き取り調査を実施中。



フィールドで学ぶ

世界各地の多様なノンフォーマル教育の実践を通じ、既存の教育観を超えた、「別様の教育」の可能性を追求する試み。待望の増補改訂!

【増補改訂版】

ノンフォーマル教育の可能性

リアルな生活に根ざす教育へ

太田美幸・丸山英樹 編著

◆ジャンル:国際教育事情/多様な生涯学習

2013年に本書の旧版を出版したとき、「ノンフォーマル教育」という言葉はあまり知られておらず、使用されることも多くはなかった。それから一〇年余りたち、教育を取り巻く状況や考え方が大きく変化するなかで、それらに柔軟に対応する「別様の教育」としてのノンフォーマル教育がもつ可能性は、より広く認知されるようになった。

教育の営みは、それを取り巻く社会のありように規定される。その一方で私たちは、教育を通じて社会を変えていくことへの希望も抱いている。一人ひとりの生活を安全で安定したものにするために、そしてより充実したものにしていくために、世界各地で多種多様な教育活動が展開されてきた。その幅広さを捉えるためのキーワードとして本書が注目する「ノンフォーマル教育」は、学校教育が十分に普及していない地域においては初等・基礎教育や職業訓練の機会として提供され、学校制度が定着した社会では、社会の主流に包摂されない自由で柔軟な学習の場として展開されてきた。ノンフォーマル教育の多様な実践を見ることで、改

めて、教育と社会の複雑な関係についての理解を深めることができるはずである。この増補改訂版では、ノンフォーマル教育の実践や理論を紹介するコラムをさらに充実させるとともに、性の平等を旨とする教育実践について検討する新たな章を追加した。その他の章においても、情報を更新したり新たな論点を提示したりしている。

ノンフォーマル教育の現場では、社会のありかたを見据えながら、そのなかで一人ひとりの自己実現を支援する活動が営まれている。そこで生じる創意工夫や協力関係は、「教育をつくりあげる」ことの魅力にあふれている。そう、教育は、自分たちの手でつくっていくものなのだ。自分にとって、周りの人々にとって、どのような教育が望ましいのか。本書がそれを考える際の一助となれば幸いである。

好評刊

生涯学習社会のポリテイクス

(スウェーデン成人教育の歴史と構造)
太田美幸 著 四一八〇円

ISBN978-4-7918-1279-7

1月下旬刊

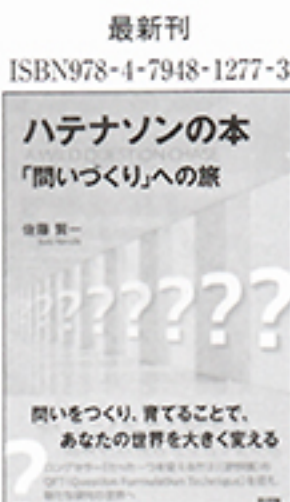
四六並製 三四〇頁 予三三〇〇円

編著者 太田美幸 一橋大学大学院社会学研究科教授。専門は教育社会学、成人教育、比較発達社会史。丸山英樹 上智大学総合グローバル学部教授。専門は比較教育学、生涯学習、国際教育協力論。

ハテナソンの本

佐藤賢一

「問いつくり」への旅 教室、研究、仕事、日常生活に役立つ質問づくり。課題解決の最新・独自メソッド。四六並製 二二六頁 二四二〇円



「ありがとう」の力

松本有貴編著

「学校に笑顔をとどけるウェルビーイング日記」 独自開発の日記で児童・学生の「よき生」の実現を支える教育実践。四六並製 二四四頁 二四二〇円



日本のアタリマエを 変える学校たち

有澤和歌子

「誰もがインターナショナルスクールで学べるように」 自分子どもだけが幸せになれる世界はない。四六並製 一三六頁 二二〇〇円



「改訂2版」生のための学校

清水 満編著

「デンマークで生まれたフリースクール」ラオルケホイスコーレの世界」 一八〇年以上にわたって続く「生きた言葉」の授業。四六並製 四〇〇頁 三三〇〇円



教師の社会性

池島彰之

「世間知らず」と言われないために 教師が身につけるべき社会性とは何かを整理・確認し、「ベターな話し方」を提示。四六並製 一九四頁 二二〇〇円



「困った生徒」の物語

磯村元信編

「リアルな教育現場をのぞく」 崖つぶちの子どもたちを支えるためのヒント満載の教育ドキュメント。四六並製 二六四頁 二二〇〇円



トピック学習で 話し合う力を育てる

廣口知世・山元悦子

「子どもたちとつくり上げた6年間の軌跡」 小学校国語科において悩みの種である「話し合い」学習の改善法を指南。四六並製 二四〇頁 二四二〇円



子どもとともにする 「教育ドキュメンテーション」

白石淑江・山中健司編著

「探究を深める保育実践」 「あかつき保育園」の保育者と「小さい人（子ども）」との目をみはる保育革命。A5並製 一七二頁 二二〇〇円



『学校小説』の残光と残影

藤尾 均

〔明治・大正・昭和の34編〕 鋭敏な作家の眼が捉えた「真実」の光が現代の社会・教育・文学を照らし出す。四六並製 三六〇頁 二七五〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1278-0



山谷をめぐる旅

織田 忍

訪問看護師として働きながら、この街の「生き死に」を見つめ続けてきた著者による同時代の記録。写真約120点収録。四六上製 二七二頁 二六四〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1276-6



新大学原論

岡山 茂・白石 嘉治

大学とは生のスタイルであり、だれもが無償で学べる場所への約束である。軌文の渦中で、その夢の糸を編みなおす。四六並製 二五六頁 二四二〇円

9/4朝日「新論」著者寄稿
ISBN978-4-7948-1263-6



私たちはどこにいるのか

ブルーノ・ラトゥール／川村久美子訳

〔惑星地球のロックダウンを知るためのレッスン〕人類再生の方途を「コロナ禍の教訓から導出。畢世の渾身作。四六上製 一三三頁 二四二〇円

『環境新聞オンライン』紹介
ISBN978-4-7948-1269-8



執筆開始、その前に

大倉 幸宏

〔「悪文」を避けるための考え方〕単なる書き方指南を超えて、物事の見方や心構えから問い直す悪文回避法。四六並製 三四四頁 二六四〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1249-0



知泉源氏 6

ちせんげんじ 杉村喜光

〔完訳漫画「源氏物語」〕「明石」続編。「閑屋」の本巻で、道長もかくやの情熱と葛藤を描く（青春編）堂々完結！ A5並製 三五六頁 一四八五円

好評刊
ISBN978-4-7948-1265-0



さいごの さよなら

E・ケルシー（文）／S・キム（絵）／光橋 翠訳

「ありがとう、だいすき」って伝えて、ちゃんとお別れするために……エロジー絵本シリーズ感動の完結作。B5変上製 三三三頁 一七六〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1272-8



ヴィンデビー・パズル

ロイス・ローリー／島津やよい訳

『ギヴァー』で名高いベストセラー作家が、古代ゲルマン世界を舞台に描く異色の歴史ミステリー。四六並製 二四〇頁 二四二〇円

『第57回夏休みの本（読書図書）』指定
ISBN978-4-7948-1258-2



ミカエル・フェリエ著／義江真木子訳『フクシマ・ノート——忘れない、災禍の物語』

フランス人作家が見たフクシマ あふれ出る絶望の言葉

■評者 黛まどか(俳人)

『日本経済新聞』半歩遅れの読書術／2024年10月5日付

「三年を経ずして『フクシマ』はすでに忘れられた。『フクシマ・ノート』(義江真木子訳、新評論)の冒頭の一文だ。本書の出版からさらに11年の歳月が流れ、フクシマはもはや終わったことになっていないか。

実際にはまだ2万6千人が避難中だというのに。

作者のミカエル・フェリエ氏は日本在住のフランス人。2011年3月11日、自宅で東日本大震災を経験した氏は、原発事故を受けて多くの外国人が日本を脱出する中、軽トラックに支援物資を載せて東北へ向かう。

作者が東京で震災に遭った時、私はパリにいた。地震そして原発事故。「これで世界は変

わる」。街頭の大きな新聞広告にそんなコピーが躍った。

被災地で、瓦礫や泥をかき分け、辛うじて生き残った人々の話に耳を傾ける。そして「水流のように、言葉がとめどなくあふれ出てくる」のを書き留める。ノートは紙切れではない。フェリエ氏の身体そのものだ。目、鼻、耳、口、皮膚を通して肉体に刻まれた「東日本大震災」に他ならない。

津波の破壊力、泥、匂い、叫び声、呻り声、漂う遺体……自身のみ込まれるような錯覚に陥る。フランス文学特有の修辭的で冗長な文体が、津波の威力や執拗さ、人々の絶望を伝えるのに有効だ。それでも言葉では描き切れないものがある。

る。そんなとき氏は聞き取った言葉をそのまま使う。「キョダイ ダー! キョダイ ダー!」。言葉から零れ落ちるものの救済として、俳人たちが「余白」を使うように。

避難指示区域内に取り残された遺体、途方もない除染作業……が、悲惨極まりない状況に埋没しない人々がいる。避難所を抜け出して月明りを味わう人、歌いながら洗濯をする女性たち、明るく笑う老人に作者は惹かれ、生の本質を探る。かつて関東大震災に遭った劇作家ポール・クロードルが被災者の遅しさと辛抱強さを称えた如くに。

瓦礫を見てゲルニカを思う作者だったが、本書の発刊後、

世界は戦争の時代を迎えた。「これで世界は変わる」……しかし、実際のところは何か一つ変わらなかった。コロナ禍を経てもだ。相変わらず人々の欲望が減ることはない。「全世界に麻酔がかけられている」のだ。パンデミック、自然災害、地球温暖化、原発問題、戦争、それらを一繋がりの中で考える。世界が変わる鍵がそこにあると私は思う。「今度は読者が、そのノートをどう使うかを決める番だ」

フクシマ・ノート

ミカエル・フェリエ／義江真木子訳
「忘れない、災禍の物語」 震災を

生きたフランス人文学者による、人間、生、文明をめぐる魂の手記。
四六並製 三〇八頁 二〇九〇円



【信濃毎日】他書評
ISBN978-4-7948-0950-6

本を売る

リトルプレスの取り扱い

本がますますいろいろなかたちになってきていて、おもしろい。2024年5月19日に開催された文学フリマ東京では1万2千人を超える来場者を集め、次回開催はビックサイトでの開催を予定している。当初、青山ブックセンターで開催された小さな即売会がずいぶん成長を遂げた。また、その先達企画のコミックマーケットは世界最大規模の同人誌即売会として、2019年には75万人を動員。漫画の同人誌即売会はジャンル別になってきているといわれており、2023年12月のコミケの動員はピークからは減少した27万人。それでも文学フリマの22・5倍だ。コミケはコスプレなどのイベント参加もあり、必ずしも本を買いにきているわけではないようだが、「コミケで使う平均金額」のアンケートによると「5千円から1万円」とのことなので、仮に5千円で27万人とすると13億5千万円。半分にしたら6億7千5百万円。それだけ「本」やその類似

物」が売れているのだ。

では、同人誌やリトルプレスは人気だからといって書店が扱われるのか。書店からすると、マルジナリア書店のような独立系書店であっても、リトルプレスの取り扱いには、悩ましい。単価が3000円と低くても扱う手間は3000円の本と変わらなかったり、人気のあるものであっても、必ず当店のお客様とあうかどうかわからない。ジャンル内の良し悪しの見極めは、よほどその分野に精通していなければわかりにくく、情報をつかみにくい。

とはいえ、くどうれいんさんやオルタナティブ市街さんなど人気の若い書き手も次々とリトルプレスの界隈から登場してきており、書店や出版界が「関係ない」と無視できる状況ではないだろう。見極めは難しいが、まず自分が「好ましい」と思えるところから仕入れを始め、目新しさを読者に紹介しつつ既存の商業出版へも繋いで売り上げを伸ばしていく。そういう技術も、これからは出版業界を発展させていくには必要だ。

マルジナリア書店(府中市)

小林えみ

本誌表示価格はすべて税込です。

書評日誌(8・3~9・23)

書評 紹介 関連記事

- 8・3 ⑩南信州新聞『飯田線に魅せられて』
- 8・10 ⑩図書新聞『新大学原論』(6/7 MARUZEN & ジュンク堂 梅田店・刊行記念著者対談採録)
⑩三遠南信Biz『飯田線に魅せられて』(著者談)
- 8・15 ⑩学校図書館速報版(2024えほん50選定)『ワイルド・アイデア』
- 8・24 ⑩中日新聞『飯田線に魅せられて』(著者談)
- 8・27 ⑩静岡新聞『飯田線に魅せられて』(著者談)
- 2024夏号 ⑩からだの音for Kids『もうひとつの学校』
- 9・4 ⑩朝日新聞「耕論」『新大学原論』『青空と文字のあいだで』(白石嘉治氏寄稿)

- 9・13 ⑩朝日新聞(夕刊)読者プレゼントコーナー『飯田線に魅せられて』
- 9・23 ⑩日本教育新聞『答えのない教室』(浅田和伸)
- [6・25 ⑩NHK大河ドラマガイド光る君へ・後編(広告)、7月 ⑩yomitan(文京区立図書館・中学生向けブックリスト)『ヴィンデビーパズル』

「中日新聞」他紹介
ISBN978-4-7948-1271-1



「線路は続く、どこまでも」一九五・七kmがつないだ「出会い」と「発見」。全線開通90周年に向け、旅が再び始まる！
四六並製 二七六頁 二四二〇円

飯田線に魅せられて

太田朋子・神川靖子

本を読む

スヴェンスカ・ヘムの女性たち

久しぶりにドキドキして読みました。日本の女性たちの歩んできた道と重なりました。そして、私自身が体験したこととも。労働運動の中に見られる無自覚な女性蔑視など。ジェンダー平等が流行語のように飛び交っていますが、多面的に「平等」をみるには、とても考えさせられる一冊でした。

(秋田市 団体役員 渡部雅子)

野生動物のための

ソーシャルディスタンス

密漁対策や村人への生活支援など、動物保護活動の具体的な内容が詳細に書かれていて、大変勉強になりました。また、問題意識もさらに高まりました。(文京区)

中川真知子 49歳

日本のアタリマエを変える学校たち

周囲で不登校児が増え、日本の教育になじめない子が海外の学校で自分らしくのびのびと生活する姿を見て、これからの時代、グローバル化する世の中を生き抜く子どもたちの保育・教育を変えていかなければいけないと感じています。保育・教育がインターナ

ショナルスクールのような考え方を受容の仕方になり、丁寧さを特徴とする日本の良い部分は、残していけたら良いと感じています。

(北区 個人事業 沖田奈朋美 53歳)

知泉源氏 6

本居宣長さんのエピソードなど、本編以外から得られるマメ知識が豊富で、お徳感があります。読んでいてふと思ったのは、紫式部さんは実は性別不適合の方で、光源氏くんというキャラクターのモデルは式部さん自身なのでは？自身の願望を投影したのでは？というようなことをモヤモヤ考えたりしています。ちなみにイメーজが壊れないようにと、大河ドラマの方は観ていません。(相模原市 会社員 木村健一 55歳)

さいこのさよなら

2歳8ヶ月と0歳2ヶ月の子どもの読みの読み聞かせのために買いました。死は難しいテーマですが、買ってよかったです。絵も文もとても美しく、他のシリーズも追いついて買いたいです。2歳の娘は、お話を聞いて悲しいねと言っていました。(調布市 会社員 瀬藤利奈 35歳)

好評刊

スヴェンスカ・ヘムの女性たち

「スウェーデン・専業主婦の時代」の始まりと終わり
太田美奈 二四二〇円

野生動物のための

ソーシャルディスタンス

「イリオモテヤマネコ、トラ、ゾウの保護活動に取り組むNPO」
戸川久美 二四二〇円

答えのない教室

「3人で考える算数・数学の授業」
梅本卓也・有澤和歌子 二四二〇円

虐待被害者という勿れ

「虐待サバイバーという生き方」 二四二〇円
ドクター・シンディ・ボウマン・守山やか／写真：田中ハル

富豪に仕える

「華やかな消費世界を支える労働者たち」
アリゼ・デルピエール／タム・タム・花子訳 二四二〇円

殺戮の世紀 1914-2014

「世界を変えた20の戦争」 四九五〇円
E・J・シュト&P・セルワン・監修／義江真木子訳

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料！各種特典あり！お申し込みを！

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。
入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。
ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。

営業部から

直近3ヶ月(2024年8月、9月)弊社の書籍売上ベスト15をご紹介します。

- ① 飯田線に魅せられて
- ② たった一つを変えるだけ
- ③ 「ありがとう」の力
- ④ さいこのさよなら
- ⑤ 東アジアの高齢者ケア
- ⑥ 教師の社会性
- ⑦ 感情と社会性を育む学び(SEL)
- ⑧ 日本のアタリマエを 変える学校たち
- ⑨ 日本の法人フランチャイジー
- ⑩ 「NHKから国民を守る党」とは何だったのか？
- ⑪ ツカキグループ
- ⑫ 私たちはどこにいるのか
- ⑬ 改訂版 概説ラテンアメリカ史
- ⑭ クライメット・ジャーニー
- ⑮ 改訂2版 生のための学校